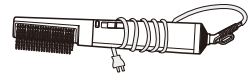
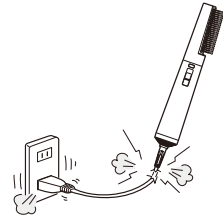


⚠ 注意

長期間使用しているとコードの内部が劣化する場合があります。

下記の内容に注意してください。

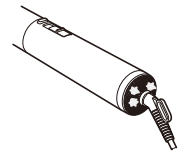
- コードやさし込みプラグなどが傷んでいたり、熱いときは使用しない。
(コードやさし込みプラグなどが変形・変色・損傷していたりコードを動かすと電源が入ったり切れたりする場合は傷んでおり、感電・ショート・発火の原因になります。)
- 使用後のコードは本体に巻きつけない。
(コードが傷んで感電・発火の原因になります。)



髪やほこりがドライヤー本体の内部に入ると故障の原因になります。

下記の内容に注意してください。

- 使用中、髪がフィルターに吸い込まれないように注意する。
(やけどや故障の原因になりますので、フィルターに髪を近づけないでください。)
- フィルターに髪やほこりが付着しないように注意する。
(髪やほこりがたくさん付着すると風量が少なくなり、温風温度が上がり故障の原因になります。)



【吸込口・フィルターのお手入れの仕方 (月1回以上)】

フィルターをドライヤー本体から取りはずして、付着した髪やほこりを歯ブラシや掃除機などで取り除いてください。

